

萩ジオパーク

推進協議会だより

vol.55

萩ジオパーク推進協議会

| 2019年9月30日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 📠 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>

新ロゴマーク、決定！



維新とマグマの胎動の地

テーマカラーは「赤」。「マグマ」と「維新のエネルギー」を表現しています。中央には、地球のプレート運動と萩の大地をつくった3つの時代のマグマ(※)、そして、萩の大地から湧き上がる維新の志をデザインしました。

また「3」という数字にも意味があり、

① ジオパークが3つの要素

「大地（地形・地質）」「生態系」「歴史・文化・産業」のつながりであること。

② ジオパークの3つの活動

「保全」「教育」「持続可能な開発」。

③ 萩ジオパークが3つの地域

「萩市」「阿武町」「山口市阿東地域」による取組。

を、表しています。まちづくりに維新を、そして、日本ジオパークネットワークに維新を起こすという力強いメッセージを込めています。

(※) “大陸で大規模噴火を起こしたマグマ”、“日本海をつくったマグマ”、“現在の萩をつくったマグマ”

萩ジオパークの公式ロゴマークができました！

平素より、皆さま方には、萩ジオパークを共に愛し、楽しんでいただき感謝申し上げます。お陰をもちまして、萩ジオパークは日本ジオパークへの加盟認定1周年を迎えることができました。これを記念して、萩ジオパークのシンボルとなるロゴマークを新たに決めました。

今後も地域の皆様とともに、「地球の視点で『萩らしさ』が見える、伝わるまち」づくりに取り組んで参りますので、引き続きご愛顧、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

萩ジオパーク推進協議会 会長 藤道健二

このロゴマークは、ジオパーク活動に資するものについては申請により皆さまの利用が可能です(使用料等はかかりません)。使用に関する、要領、デザインマニュアル等については、萩ジオパーク推進協議会公式HPに掲載しておりますので、ご覧ください。新しいロゴマークを通じ、萩ジオパークの活動を市内外の多くの皆さまに広めていきたいと思っております。

<http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/h29017.html>

投票ありがとうございました

投票総数は1,849票で、結果は1番890票、2番844票、3番160票となりました(vol.51をご参照ください)。1番が最多得票で、その後、デザインの微調整、ロゴタイプ(文字)デザイン、マークとタイプの組み合わせ等の検討を行いました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

萩ジオアカデミー② 阿武火山群 その1 ～千石台～

9/1（日）、萩ジオアカデミーの第二回目、「阿武火山群①千石台」を開催しました。阿武火山群を研究されている佐賀大学の角縁先生^{かくぶち}を講師にお招きし、講義と現地見学で萩の小さな火山について学びました。

千石台が火山であることは多くの方がご存じのようですが、実はただの火山ではなく、地下深くで何種類かのマグマが混ざり合いながら上がってきてできたものであるということがわかるという変わった場所だということをお話していただきました。角縁先生には、この講座のために千石台の岩石薄片写真を用意していただいたり、日本の大多数の活火山と違って阿武火山群の下にはプレートがない可能性があるという最新研究のお話をいただいたりと、贅沢な内容でした。

現地見学でも、千石台の広大な大根畑の脇でまだら模様の溶岩を観察したり、場所を移してアブサロカイトという他ではあまり見られない特徴的な岩石を観察したりと、岩石好きにはたまらない1日になったのではないのでしょうか。参加者の皆さんの熱意に、講師の先生も驚いていました。「先生の研究室に行ってみたい」という声もあったとか（笑）。



萩・明倫学舎での講義の様子



萩市むつみ地域での現地見学の様子

萩ジオユニバース「大地の遊び人養成講座#4」 地球と遊ぶカヌー 編

9/8（日）に、「大地の遊び人養成講座#4 地球と遊ぶカヌー」を実施しました。城下町が築かれた三角州をつくった、阿武川にあるカヌーの練習場付近が会場。講師は東京オリンピック関連で大忙しの山口県カヌー協会の吉村卓司さんです。

パドルの持ち方から始まり、まっすぐ進む練習、ターンの練習、スラローム競技の模擬体験など…。カヌー初体験の参加者が大半でしたが、丁寧なご指導のおかげで全員がカヌーを乗りこなせるようになりました。最後にはみんなでミニツーリングに出かけ、ゆったり阿武川の流れを体感しました。

自らの手で漕いで進むという感覚や、水の流れや風の状況など周囲のあらゆる情報を感じ取りながらでないとまっすぐ進めないこのカヌーは、五感を使って地球と遊ぶにはうってつけの手段だと改めて感じました。参加したジオガイドさんたちからは、ジオツアーに取り入れたい！という声も上がり、萩ジオパークの新しい展開も見えてきました。来年には萩ジオパークの新たなアクティビティが誕生しているかも!?



パドルの使い方やカヌーの乗り方を習得



参加者全員が一人で漕げるようになった

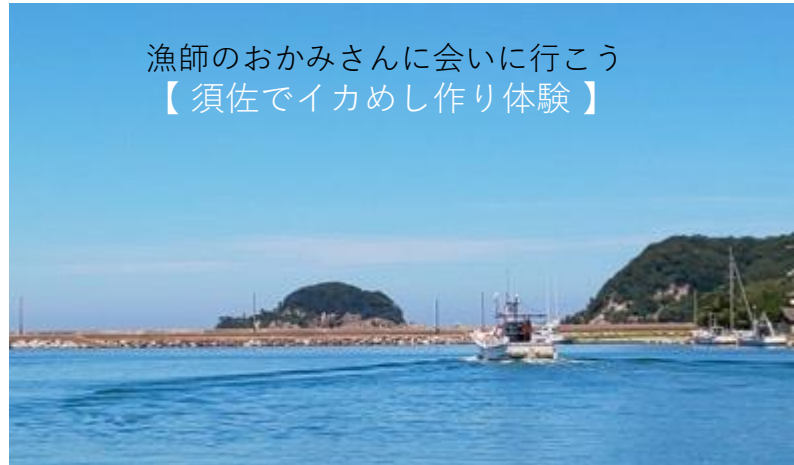
萩ジオパークを楽しもう！

2つの団体がイベントを主催、参加者募集中!!

まず、**萩ジオツーリズム協会**主催のジオツアーです。萩ジオツーリズム協会は、今年4月に設立した萩ジオプランナーと萩ジオガイドで構成される団体です。当団体のツアー企画は萩ジオパーク公式ジオツアーとして提供しています。今月のジオツアーは「〇〇さんに会いに行こう～この地に生きる“心”に出会う」。

10月26日（土）10時から、**須佐の漁師のおかみさん**たちに会いに行きます。須佐男命イカをはじめ、漁業も盛んな須佐地域。なぜこの地で漁業が盛んなのか。その理由を探り、漁師を支えるおかみさんたちの心に触れるツアーです。参加費3,000円、イカめしづくり体験を行いますので、エプロン持参です。

漁師のおかみさんに会いに行こう
【須佐でイカめし作り体験】



遊覧船としても活躍のイカ釣り漁船。
支えるおかみさんの思いに触れます

平蔵台で大地の恵みを実感！
【農家さんとイモ掘り体験】



平蔵台のサツマイモ畑。現地でおしさの
ひみつを体感しましょう

もう一つは、**萩のジオパークってなんじゃろう会**主催の収穫体験イベントです。この会は、団体名の通り「ジオパークって何？」と思ってもらうきっかけづくりをしています。これまで、萩の大地の恵みをモチーフとするバッグや缶バッジをつくるワークショップや、野外で「大地を感じるヨガ」を行ったりしてきました。10月18日（金）は阿武火山群の溶岩台地「**平蔵台**」で生産する方のお話と大地の成り立ちを聞き、収穫体験と実際に味わうことで、大地の恵みを実感します。参加費1,500円、収穫体験を行いますので、汚れてもよい服装、軍手、長靴でお越しください。みんなで昼食づくりもしますので、エプロン持参です。

どちらも定員20名、申込みは萩ジオパーク推進協議会事務局（電話：0838-21-7765）へお願いします。

ジオ・ カメラさんぽ

地域の女子会へおじゃましました
阿東地域（山口市）

ジオガイドさんが、山口市阿東地域を盛り上げようと頑張っている皆さんの「あともり女子会」に招かれて、情報交換。ゆるいつながり、たのしいひとときでした。



みなさんからの素敵な投稿写真をお待ちしています。

Mail : geo@city.hagi.lg.jp

おかしなジオパークめぐり 高低差4000mが生んだ「水だんご」 (立山黒部ジオパーク)

富山県の立山黒部地域は、標高3000mの北アルプスから、水深1000mの富山湾まで4000mもの高低差が特徴です。この高低差を流れ下る黒部川は山を削りこんで渓谷をつくり、海沿いに土砂をためました。こうして海岸付近には日本最大の広大な扇状地ができ、水田地として利用されています。そこで収穫された米と、各所から湧き出る豊富な湧水を使って作られるのが「水だんご」。白い団子を湧き水で洗い、きな粉をまぶして食べます。素朴な味わいの中に高低差4000mのロマンを感じてみてはいかがでしょうか。



富山県立山黒部の夏の風物詩「水だんご」

地域内6カ所に大きな床地図が設置されました



ジオパークビジターセンターに設置した床地図

今年度の萩市のジオパーク推進事業として、市内のジオパーク情報発信拠点施設6カ所に床地図が設置されました。萩ジオパークエリア内の地形の陰影を強調し分かりやすく紹介しており、その施設を拠点にジオパークの見どころ巡りが楽しめます。サイズは約3畳の大きさで迫力と見やすさは抜群です。また、今後はジオツアーの立ち寄り処としての機能も充実させていきたいと思っています。

■設置場所

- ①萩ジオパークビジターセンター、②ふれあいステーション須佐、③小川ふれあいセンター（小川支所）、④道の駅ハピネスふくえ、⑤旭活性化センター（佐々並公民館）、⑥笠山山頂展望台

10月の予定 - Information -

○**弥富そばの花まつり** 10月6日(日) 9:30~15:00 場所: 弥富小学校 内容: 弥富産そば100%で打つ「弥富そば」(400円)が楽しめるほか、弥富龍神太鼓や神楽舞の披露、ご当地ジオ・クイズ、餅まきなどのイベントも盛りだくさん。主催: 弥富むらおこし会 問い合わせ: 弥富公民館(08387-8-2044)

●**萩ジオアカデミー講座③「大陸の巨大火山活動」** 10月6日(日) 10:00~15:00 場所: 長門峡自然休養村管理センター 内容: 萩が大陸の一部だった時代のマグマ活動の記憶に迫ります。主催: 萩ジオパーク推進協議会 申込受付終了

●**「平蕨台で育った野菜は何故おいしいの？」** 10月18日(金) 10:00~15:00 場所: 福栄夢のーらる雲海 内容: 大地の成り立ちとそこで生産を行う方からお話を聞き、サツマイモの収穫体験と試食を行う。定員: 20名 参加費: 1,500円 主催: 萩のジオパークってなんじゃろう会 申込み・問合せ: 萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)

○**geoとも(萩ジオ友の会) 定例会「ジオ探訪」** 10月19日(土) 8:00~16:00 集合場所: 萩商港 内容: 相島散策 参加費: 実費 主催: geoとも 問合せ: geoとも西嶋(0838-26-6123)

●**ジオツアー「漁師のおかみさんに会いに行こう」** 10月26日(土) 10:00~12:00 集合場所: JR須佐駅前 内容: この地で生きる“心”に出会うガイドツアー。須佐の漁師さんを支えるおかみさんに会いに行き、イカめしづくり体験などを通じて、心を感じます。定員: 20名(最低催行数10名) 参加費: 3,000円 主催: 萩ジオツーリズム協会 申込・問合せ: 萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)

●**萩ジオアカデミー講座④「日本海の誕生」** 10月27日(日) 10:00~15:00 場所: 宇田郷公民館 内容: 2000万年前~1500万年前に海面下で起きた日本海形成の記憶に迫ります。主催: 萩ジオパーク推進協議会 申込受付終了

※●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)までご連絡ください。

わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説

みなさん、こんにちは。ワッキー教授です。夏も終わり、すっかり秋の気配となってきましたね～。美味しい果物も、脂ののった魚も、新鮮な野菜も、沢山食べられて、実りの秋バンザイ!

今回は、美味しいお魚が沢山取れる萩沖に浮かぶ6つの島、「萩六島」にやって来ました。そこには、なんと六つ子の兄弟姉妹がいるんですね。萩六島は、大島、櫃(ひつ)島、相島、羽(は)島、尾(お)島、肥(ひ)島から構成されています。兄弟姉妹には、オオ美、ヒツ美、アイ美、ハジ丸、オシ丸、ヒシ丸と、6つの島の名前がそれぞれついています。とはいえ、子どもたちは両親とともに、一番大きな島、大島と一緒に住んでいるようです。夏休みなどは、それぞれの島を回って、子どもたちは、自分の名前のついた島ではしゃぎ回っています。楽しそうですね。



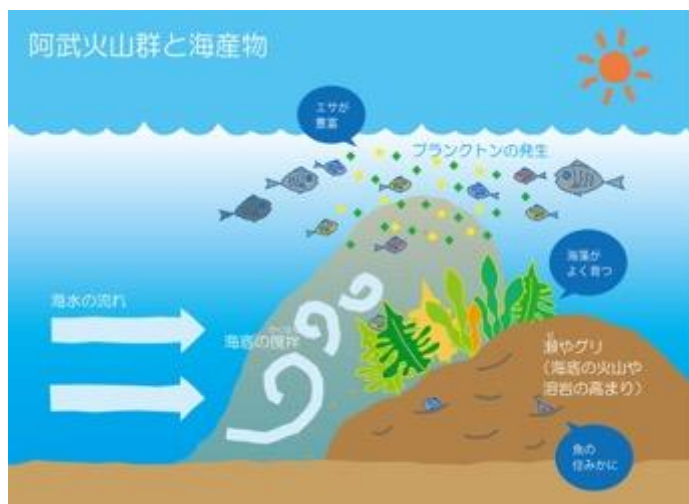
笠山山頂から萩六島を望む

六つ子と言えば、赤塚不二夫先生の「おそ松くん」ですね。古い漫画だから、若い人は知らないかもしれませんが、2015年にはテレビ東京でテレビアニメ「おそ松さん」今年の3月には「えいがのおそ松さん」も上映されました。私の子供の頃は、イヤミの真似をして、「シェーっ!」ってポーズをよくやりましたっけ。最近も、よく物忘れをして、「シェーっ!」と叫んで、大慌てしています。赤塚不二夫先生の「おそ松」くんは、一卵性双生児だったけど、萩六島の兄弟姉妹は、二卵性双生児だそうです。でも、みんなよく似ていますよね。白玉団子先生がだんだん描ける顔の種類がなくなって来たのかもしれませんが(冗談です…汗)。

さてさて、萩六島は、もともと笠山と同様にマグマが噴出して出来た火山です。笠山つぶきちゃんの

笠山や伊良尾龍くんの伊良尾山と同じく、阿武火山群に属しています。阿武火山群は、約40くらいの小規模な火山の集まりです。一番古いもので約150～200万年前くらいに噴火したもので、一番最近の火山は約8800年前に噴火した笠山です。結構古いように思いますが、いずれも活火山になります。2003年に火山噴火予知連絡会が、「概ね過去一万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と決めました。阿武火山群は、古いものから若い笠山まで一連のマグマ活動で形成されたと考えられているので、この定義によって、活火山と認定されています。現在、日本の活火山は111ですが、阿武火山群はその中の1つで山口県唯一の活火山ということになります。中国地方全体をみても、島根県の三瓶山と山口県の阿武火山群しかないですよ。すごいでしょ?さすが「マグマ胎動の地」萩ジオパークですね。

萩沖を見渡すと、萩六島の間を多くの漁船が行き交っているのに気づきますね。萩湾は、海底に隠れた火山の痕跡が数多くあり、非常に複雑な地形の起伏があります。この複雑な海底地形は、餌のプランクトンを運ぶ上昇流を引き起こしたり、魚にとって、とても棲みやすい場所となっています。それは、同時に漁師さんたちの、活躍の場でもあります。萩六島を作った火山作用は、良質の漁場を提供して、我々に美味しい海の幸をもたらしてくれています。食欲の秋、美味しい萩産の魚を召し上がってみませんか?

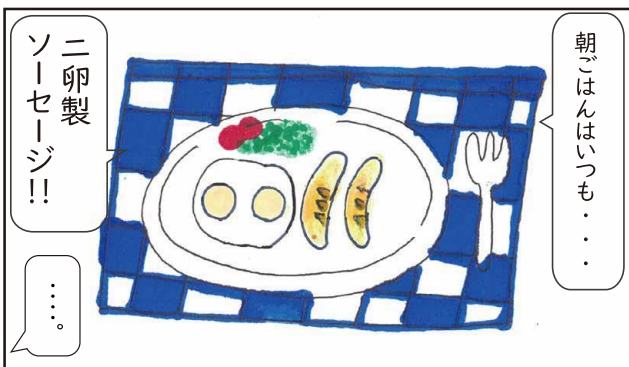


阿武火山群と萩の海産物のよい関係

はんだ がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第14話 萩沖の6つの島々



第15話 萩の島が平らな理由

